



会計の信頼性回復 IFACの特別タスクフォースの提言

藤沼 亜起
新日本監査法人代表社員 公認会計士
国際会計士連盟(IFAC)前会長

要があることが、事件の原因の解明を進めるうちに分かってきたからである。

二〇〇二年七月末の米国の企業改革法「サーベインズ・オクスリー法」の成立を受けて、各国は自国の資本市場の透明性と信頼性の強化に動き、法律改正や規制強化に動き出した。

私は各国の職業会計士団体の世界組織であるIFACの会長として、二〇〇二年前半の混乱の最中、IFACとして何を早急にやるべきかについて悩んでいた。三月に緊急の会長声明を出した後、IFACは会計不信問題を、各国政府の改革案とは別の立場で、「国際的視点から、信頼喪失の原因を分析し、信頼回復のために必要な方策を検討し提言する」という任務を実行するタスクフォースを設置することを決定した。このタスクフォースのメンバーには、議長としてカナダの元中央銀行総裁のジョン・コトワ氏をはじめ、会計プロフェッショナルと関係のない有識者をメンバーに加えた。委員はアメリカ、イギリス、オーストラリア、フランスおよび日本から成り、日本からは元大蔵省の財務官で国際経済研究所副理事長の中原幸典氏にお願いした(同氏にはこのタスクフォースの会議出席などで多大な貢献をしていた)

二〇〇二年は会計プロフェッショナルとしても、多分経済史上においても歴史に残る年であったと思え、エピソードを占めていたアーサンダーセンが事業停止に追い込まれてしまった。この一連の事件は、厳しき基準や規制から世界で最も信頼できる市場といわれてきた米国の資本市場全体の信頼性をも大きく損傷させたしまった。というのは、この会計不正の問題は、何も企業のCEOや外部監査人に責任を取らせれば済むようなものではなく、レポートガバナンスの問題、複雑で詳細すぎる会計基準の問題、外部監査人の独立性の問題、証券アナリストや格付機関の利益相反の問題など、多くの資本市場の参加者の現行のプラクティスを大幅に見直す必

WORLD TREND

た。何回もの会議を経て最終報告は今年の八月に公表された。

主な提言は左記の二〇項目である。

IFACの提言は、一見総体的なようにも見え、世界が国々がそれぞれ改革に動き出しているものの中

「一」実行性のある企業規制を設け、積極的にモニターすることである。

論議決定はすでに多くの企業で制しなわい、必ずしも倫理規定又は行動指針により役員及び従業員に対する教育や履行状況(エタワリ)が十分に行われない。とりやめ、システマティックに必要である。

「二」企業監査官は財務管理及び統制の有効性についてより深く調査をおこなわなければならない。

財務報告及び統制制組に対する経営者の責任の明確化、CEO役職と会計・財務能力の再認識、内部監査の充実を求めよう。

「三」財務報告の虚偽記載を防止(フレンジン)を要する必要がある。

非現実的な短期的決算思想の廃止やレヴェンゲ・プランの適用を求めよう。

「四」取締役会は経営者の監視について改善の必要がある。

取締役会によるCOOの評判、独立取締役による構成される監査委員会又は監査役の設置と権限及び責任の明確化、そして監査委員会メンバーの財務能力の必要性を求めよう。

「五」監査人の独立性に対する保証は、企業統治プロセスの中でも、また監査人自身にも十分に認識されなければならない。

外部監査人の窓口は取締役会、監査委員会又は監査役委員会にも外部監査人と監査役及び監査業務契約の承認者としての明示、担当監査人の「サーベインズ」監査法人への委任、システマティックの確立、バリエーション報酬と業績評価制度の見直しなどを求める。

ら、実現可能性のあるベストプラクティスを取り出してきて提言としてまとめたものである。提言のより具体的内容については、IFACのウェブサイト(www.ifac.org)から本文をダウンロードしてほしい。

「六」主として監査の信頼性向上を一段と推進することにより、監査の効果を高める必要がある。

監査法人としての「サーベインズ」の廃止、会計業界に入る村の向上、資格取得後の教育の充実、監査役とインテリジェントな受け手の設置と監査法人の内部監理、IT・制度の強化、品質管理、口外等の公表、監査法人の財務情報の開示などを求める。

「七」財務報告とロゼに同じくしている他の関係者が遵守すべき行動規範を想定することはない。遵守している「サーベインズ」は、これを維持する限り、格付け機関、弁護士及び投資銀行などの信頼維持の認定(公認)をとりやめ、信頼回復に向けた積極的役割の果たすことを求める。

「八」監査基準及び監査制は花々である必要がある。国際的な監査基準(ISA)の統一、IFACの統一、IFACの更新の改訂(例:不正発見、リタの許容率)の監査基準、外部機関にも監査の品質向上へのリーダーシップ、IFACのメンバー(団体)「サーベインズ」の義務のエンゲージメントを求めよう。

「九」企業会計及び報告の透明性は必要である。国際会計基準(IFRS)の統合的な適用を促進する必要がある。

「一〇」発行会社に対する規制の水をかける必要がある。サーベインズ財務諸表の審査と証券監督者国際機構(IOSCO)の証券規則問題(ESG)に関する国内規制の策定を求めよう。

を求めよう。